

施策・主な取組シート

資料6

基本方向	(1) 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	基本政策	1) 保健・医療の充実
(1) 施策			
名称	01 保健の充実		
目標	全ての市民が地域社会で活躍するため、健康寿命の延伸や健康格差の縮小を目指すなど健康づくりの推進を図ります。		
現状と課題	<p>死亡理由の半数以上を占めるがん、心疾患、脳血管疾患の三大生活習慣病を予防するためには、食生活や運動、休養などの適正な生活習慣の獲得と維持、またアルコールやたばこなどに対する正しい知識の普及が不可欠です。</p> <p>そのためには、子どもの時から健康に関する正しい知識を獲得するための機会を設け、保健・栄養・歯科指導などを通じた、生活習慣病の発症や重症化予防の取り組みが必要です。同時に、歯の健康に関する対策や、感染症を予防するための予防接種の実施や情報提供などが求められています。</p> <p>さらに、健康問題、経済・生活問題などのストレスから、こころの病気にかかる人も増えており、自殺予防も含めた若い世代からのこころの健康対策も重要です。</p> <p>また、健康増進センター「いきいき館」については、幅広い年代の利用が見受けられ、健康に対する意識の向上から施設利用のニーズは高まっており、今後も、施設を継続していくことが求められています。一方で、建物が築30年に近づき、経年劣化による機能の低下が見られることから、建物の耐用年数を考慮した衛生管理の向上が課題となっています。</p>		
課題解決の方向性	<p>市民の健康づくりの基本計画である「第3次健康さくらづ21」に基づき、乳幼児健診やがん検診、若年期健診などの実施や、子どもの健康づくり、食育推進等の部会活動、地域に赴いた地区活動等の各種事業を進めるとともに、年度ごとに評価・検証を行い、効果的な保健事業の推進に取り組みます。</p> <p>また、「第2次データヘルス計画」において明らかになった諸課題に対し、生活習慣病の発症予防や重症化予防のために、健康や保健サービスに関する生活習慣の改善指導、相談、情報提供などに取り組みます。</p> <p>さらに、各種検診の受診率を高め、疾病の早期発見に努めます。</p> <p>健康増進センター「いきいき館」は、安全性に配慮した対策や必要な修繕を行います。</p>		
(2) 主な取組			
No.1	名称	健康づくりの推進	
	担当課	健康推進課・保険年金課	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診・若年期健診・特定健康診査等の各種健診の受診率の向上のため、実施方法の検討に継続して取り組みます。特に、若年期健診の対象者を30歳代から20歳代に引き下げ、若い世代に対して健康意識を高めるアプローチを推進します。 ・生活習慣改善に向けた保健指導・栄養指導・歯科指導等の保健活動について、関係機関との連携を強化するとともに、各種事業を通じ、適正な食生活などの生活習慣についての知識が実践に結び付くよう、切れ目のない支援を行います。 ・特定健康診査後の特定保健指導の強化により、メタボリックシンドローム予防対策を図ります。また、生活習慣病の重症化のリスクのある者に対して、保健指導を行うとともに、糖尿病管理台帳を用いて慢性腎臓病(CKD)予防の保健指導を推進します。 ・むし歯予防のため、小中学校を対象にフッ化物利用を促進し、フッ化物洗口実施校を計画的に拡大していきます。 ・定期予防接種のワクチンの効果、必要性の周知を徹底し、ワクチンの接種を促進します。 ・ストレスの上手な解消法について、知識の普及を行い、相談窓口や支援機関の情報周知を図ります。 ・受動喫煙を含むたばこの害についての知識を普及し、喫煙者には、健診結果と合わせ禁煙支援の保健指導を行い、禁煙希望者には禁煙外来の情報提供を行います。 	

No.2	名称	健康支援体制の充実		
	担当課	健康推進課		
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進センター「いきいき館」のプールの適正な修繕やトレーニング機器の更新を行うことで、安全に利用できる環境を整えるとともに、幅広い年代の利用促進を図ります。 健康管理システムを活用して、市民個々の健康情報や支援内容等のデータを管理・分析し、得られた結果から健康リスクの高い市民へ必要な情報を提供し支援に結びつけます。 関係課と連携して市民のライフステージにおける切れ目ない健康支援ができるように、必要な支援体制を検討します。 		
施策目標の実現に関する指標	指標	現状値	目標値 (H34)	設定の考え方
	特定健診受診率	45.1% (H28年度)	57.50%	第2期データヘルス計画期間である35年度までに、国の示す目標値60%を達成させるために毎年2.5%づつ上昇させる。
	フッ化物洗口 小学校全校実施	小学校 8校 中学校 3校	小学校 全校実施 中学校 3校継続	安心して手軽・安価なフッ化物洗口を小学校で拡大し、永久歯のむし歯予防を図る。